

大運が赤字転落、輸送需要低迷とコロナ響く

Edited By LogisticsToday On 2020/05/14

14日に発表となった大運の2020年3月期決算(非連結)は、売上高が0.6%増の74億1000万円と微増収で推移したものの、20年2月以降に輸送需要が低迷した影響で、営業損益は1200万円の赤字、純損益も1800万円の赤字となった。売上の97%近くを占める港湾運送部門でコストが上昇し、新型コロナウイルスの影響も加わって赤字を計上したのが響いた。今期の業績予想は「未定」としている。

■決算集計(見出し:年/決算期/四半期、[]):前年同期比、単位:百万円)	20/3/通	20/3/3Q	20/3/中	20/3/1Q
	期 [前年 同期比]	[前年同 期比]	間 [前年 同期比]	[前年同 期比]
売上高	7,410 [0.6%]	5,741 [2.1%]	3,774 [4.2%]	1,811 [1.7%]
営業利益-12 [-]	40 [-4.8%]	6 [-84.6%]	-23 [-]	
最終利益-18 [-]	90 [-]	45 [-18.2%]	30 [-23.1%]	
売上高営 業利益率	-0.2%	0.7%	0.2%	-1.3%

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/376969>

Copyright © 2021 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.